



今号の表紙



特集  
矢作ダムは今年で  
完成から40年を迎えます。

矢作水源フォレストランド通信

- ・炭で沈砂池を浄化
- ・古民家をリフォームして過疎化対策

第30回全国豊かな海づくり大会  
(平成22年6月12日)  
矢作川源流域の魅力をもっとPRするイベントを毎年開催。今年のイベントは6月頃を予定しています。  
お問い合わせ先：矢作ダム管理所 0565-68-2321

## 矢作水源フォレストランド通信

矢作水源フォレストランドとは、愛知、岐阜、長野の3県・4自治体にまたがる矢作ダム水源地域の共通名称。平成18年3月に矢作ダム水源地域ビジョンを策定し、この地域の自立的、持続的な地域活性化活動を推進しています。このコーナーでは、矢作水源フォレストランドが行う活動の最新情報をお知らせします。

### 炭で沈砂池を浄化

矢作ダムの上流部で発生する工事現場からの濁水を、そのまま下流部に流さないための対策として設置されている「沈砂池（土砂等で濁った水を留めて土砂と水を分離する池）」をきれいにするために炭がどのくらい役立つのか、炭を入れたふとん籠を沈砂池に設置し浄化実験を行いました。



沈砂池へふとん籠に入れた炭を設置



浄化した沈砂池にホタルを放流

### 古民家をリフォームして過疎化対策



老朽化した家の基礎部分の補強、床板の取り替え、いろりの再現などが施された古民家は、「結の炭家」と名付けられました。

平成20年度から農林水産省の「農村漁村地域力発掘支援モデル事業」に指定されたことから、空き家の実態調査などを行い、平成21年11月に「古民家リフォーム塾」を開催しました。

築100年以上経つ空き家(串原地区松本)のリフォームを、恵那市近郊、豊田市、名古屋市などから集まった都市部の方々を行いました。



国土交通省中部地方整備局  
矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県豊田市閑羅瀬町東畑67  
TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328

(ホームページアドレス) <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

●矢作ダム管理所広報誌「矢作だむっこ」は矢作ダム管理所のホームページからダウンロードすることができます。

地域の暮らしを守り続けて40年

# 矢作ダムは今年で完成から40年目を迎えます。

洪水調節と利水の2種類のはたらきを持つダムとして、地域の暮らしを支え続けてきた矢作ダムは、今年で運用開始から40周年を迎えます。平成6年の全国的な大洪水、平成12年の恵南豪雨災害など、矢作ダムと自然との闘いは、すなわち地域と自然との闘いの足跡といえます。

**年表の見方**

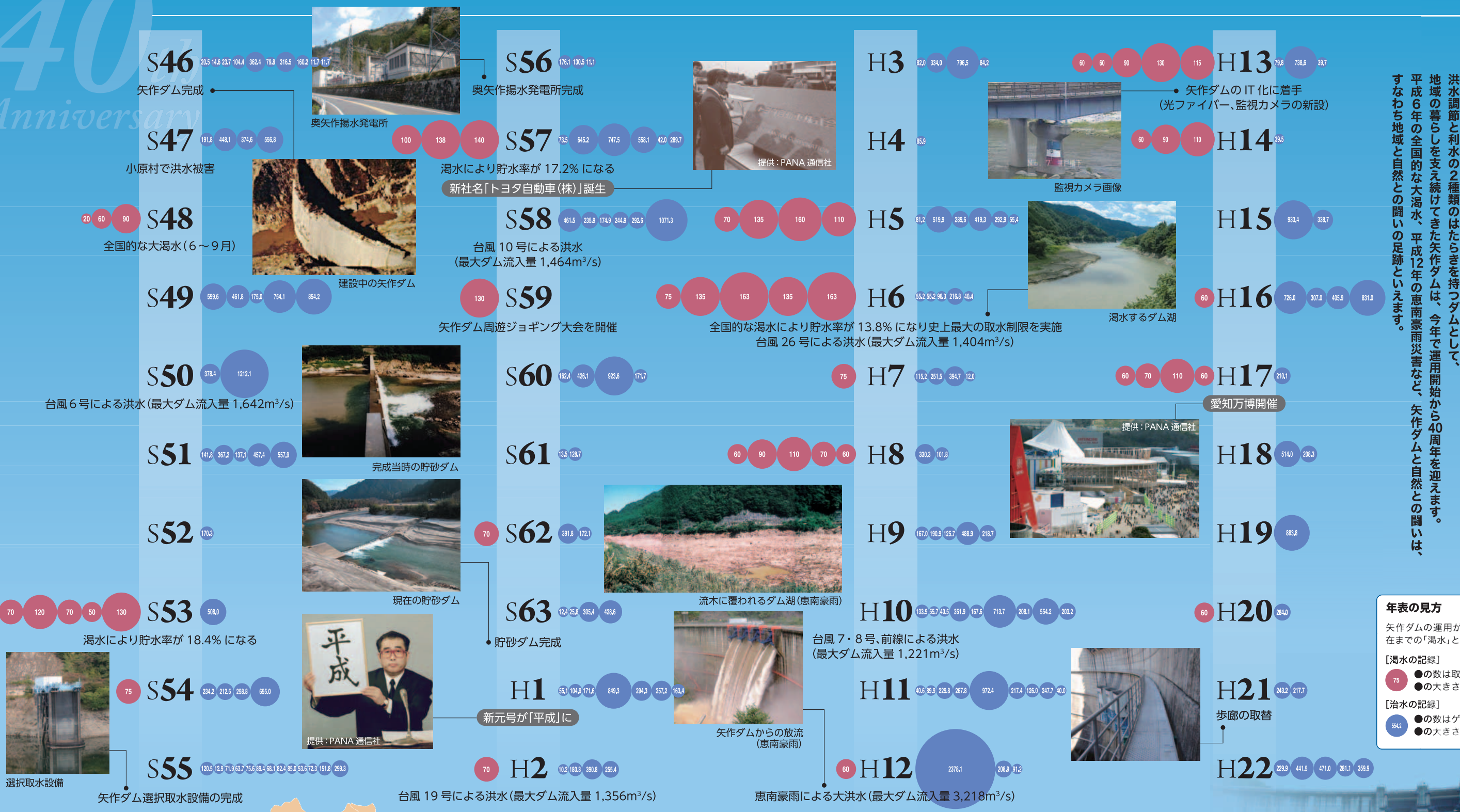
矢作ダムの運用が開始された昭和46年から現在までの「洪水」と「治水」の記録をまとめました。

【洪水の記録】

- の数は取水制限回数
- の大きさと数字は取水制限率(%)

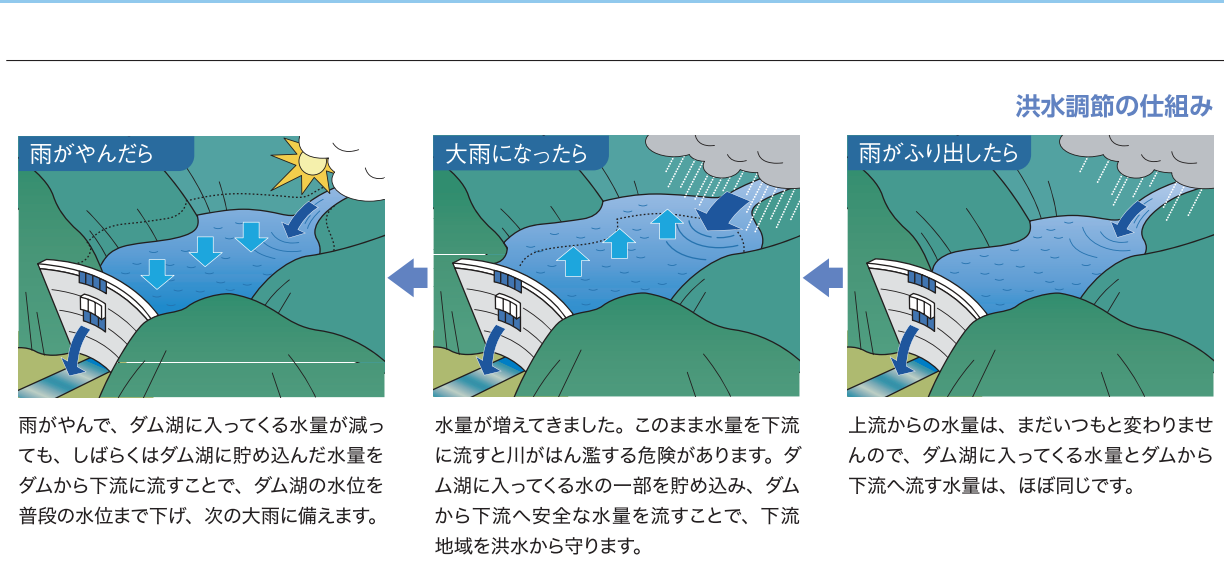
【治水の記録】

- の数はゲート操作回数
- の大きさと数字は最大放流量(m<sup>3</sup>/s)



**利水**

ダム湖には最大で6500万m<sup>3</sup>の水を貯めることができます。貯められた水は、農業用水や工業、発電に使われるほか、西三河地域の方々、約100万人分水道水として利用されています。



**治水**

大雨などの時、川を流れる水を一時的にダム湖に貯め、下流に流れ込む水の量を減らすことで洪水被害を少なくしています。

